

## 昔の大阪の町並み「大阪楽市楽座」が大盛況！NON STYLE が 23 年ぶりにストリート漫才も！

「大阪城夢祭」の多彩なラインナップのなか、太陽の広場では「大阪楽市楽座」が連日賑わいを見せました。NON STYLE・石田明さんのプロデュースで、昔の大阪の町並みをイメージした賑やかなエリア。グルメや懐かしい遊びの小屋が立ち並ぶなか、ひととき大きなテント小屋「楽市楽座亭」では、演芸やパフォーマンスのイベントが毎日多数開催されました。

### ●大阪楽市楽座

小さな子どもでも楽しめるような、笑いあり、アクションありの愉快なお芝居「ももたろう」。NON STYLE・石田さん自身が脚本を手がけ、主役のももたろうを演じるほか、戦隊ヒーロー出身の小澤亮太さん、元 AKB メンバーの木崎ゆりあさんのほか、東京を中心に活躍する芸人たちが集結して、賑やかなパフォーマンスを展開しました。

「鬼ヶ島へ『レッツゴー！』」で声をあげ、テーマソングに「ももたろう」のワードが出るたび両手で大きな桃を作るパフォーマンスなど、ステージと客席が一体となって盛り上がる演出も満載。合間には芸人たちがお得意の持ちネタで爆笑をさらっていたほか、バトルシーンでは客席のちびっ子から自然と「ももたろう、がんばれ！」の声が上がり、戦隊レンジャーの登場でさらに大盛り上がり、熱気あふれるステージとなりました。



「楽広場ステージ」は、サプライズ的に芸人やパフォーマーのライブが始まる無料ステージ。若手時代にストリートライブで腕を磨いた NON STYLE が、ここで 23 年ぶりのストリートライブを行いました。SNS で事前に情報が拡散され、予告された 13 時前にはステージ前に大勢のファンが集結し、NON STYLE は大阪城を背景に漫才を披露。ネタの途中で、実際の井上さんの住所や位置情報をぎりぎりまでばらした石田さんは、屋外ライブでスマホ撮影 OK のなか「拡散してくださ〜い」と叫んで爆笑をさらっていました。

楽市楽座亭「楽市楽座寄席」では、座長を務める NON STYLE・石田さんが MC として登場。この日は、お得意のギターを使った漫才のラニーノーズ、怖い話？で沸かせたニッポンの社長、クレーム対策万全な童話ネタの祇園、そしてヘンテコな人間ドックネタで NON STYLE が登場。4 組の出演陣と石田座長のフリートークもあり、盛りだくさんな内容となりました。



楽市楽座亭「魅せ物小屋 遊楽」では、MCの石田さんは座長らしく、シルクハットに燕尾服で登場。この日は、中国雑技団で腕を磨いた高取優耶さん、現在はNGKをホームにする、もりやすバンバンビガロ、ニュージーランドで活躍したMr. オクチ、国内外でパフォーマンスするけん玉師の伊藤佑介さんというラインナップ。

ステージの最後には「けん玉好き」を公言する石田さんが、5連のけん玉に挑戦。さすがに石田も続けて失敗するも、なんと最後の挑戦で成功！ 「大阪楽市楽座」の盛り上がり象徴する、神がかり的なミラクルが起きました。

#### ●murffin park. EXTRA×MINAMI WHEEL EDITION

音楽レーベル「murffin discs」所属のホットな9組が大阪城音楽堂でスペシャルライブを開催。最初にFM802の樋口大喜さんと田中乃絵さんが「伝説のステージになる！」と宣言した通り、気鋭のバンドが野外ライブで未来志向のパフォーマンスを披露してくれました。最初にステージに立ったのはSPRINGMAN。フレッシュな顔ながら、いきなり客席は総立ちの盛り上がり！続いて登場のなきごとも、最初の「連れ去って、サラブレッド」から観客はテンションマックス。osageが登場したのは、日がすっかり落ちた18時半ごろ。汗ばむほどの昼から一転、寒気に包まれた会場で「sonic blue」から沸き立つ客席を温めてくれました。続いてのガールズバンド、ヤユヨも寒空の中のオーディエンスを気遣って「みんなの心を温められるように！」と宣言してパワフルなステージを展開。ラストは、Ivy to Fraudulent Game。「みんな寒い中、最後までありがとう！」というボーカルの寺口が途中から上着を脱ぐほどのエキサイティングなライブとなりました。

